

事業活動脱炭素化取組計画書

(宛先) 川崎市長

郵便番号 210-0867

住 所 神奈川県川崎市川崎区扇町12-1

氏 名 川崎天然ガス発電株式会社

代表取締役社長 二股 茂晴

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

川崎市地球温暖化対策等の推進に関する条例第10条第1項の規定により、次のとおり提出します。

事業者の氏名 又は名称	川崎天然ガス発電株式会社		
主たる事務所又は 事業所の所在地	川崎市 川崎区扇町12-1		
該当する事業者の要件 及び温室効果ガスの排 出を行う産業、運輸そ の他の部門	<input checked="" type="checkbox"/>	規則第4条第1号該当事業者	エネルギー転換 部門
	<input type="checkbox"/>	規則第4条第2号該当事業者	部門
	<input type="checkbox"/>	規則第4条第3号該当事業者	部門
	<input type="checkbox"/>	規則第4条第4号該当事業者	部門
主たる事業 の業種	大分類	F	電気・ガス・熱供給・水道業
	中分類	33	電気業
主たる事業 の内容	天然ガスを原料とした発電		
事業者の規模	<input checked="" type="checkbox"/>	原油換算エネルギー使用量	487,557 kL
	<input type="checkbox"/>	自動車の台数	台
	<input type="checkbox"/>	エネルギー起源の二酸化炭素 以外の温室効果ガスの排出の量	t-CO <sub>2</sub>
連絡先	担当部署	担当部署名	
		所在地	
	電話番号		
	FAX番号		
	メールアドレス		

※受付欄	※特記事項	※事業者番号	

(第2面)

計 画 期 間	2025 年度 ～ 2027 年度
事業活動に伴う温室効果ガスの排出の量の削減等を図るための基本方針	別添 指針様式のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減等に向けた組織体制	別添 指針様式のとおり
事業活動に伴う温室効果ガスの排出の量及び当該量の削減に係る事項	別添 指針様式のとおり
エネルギーの使用量及び当該量の削減に係る事項	別添 指針様式のとおり
再生可能エネルギー源の利用及び使用するエネルギーの電化に係る事項	別添 指針様式のとおり
自動車の使用に伴う温室効果ガスの排出の量の削減に係る事項	別添 指針様式のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減等に寄与する技術又は製品の開発等に係る事項	別添 指針様式のとおり
その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項	別添 指針様式のとおり
備 考	

- 備考 1 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。  
2 □のある欄は、該当する□内にレ印を記載してください。  
3 計画書には、事業活動脱炭素化取組指針に定める資料を添付してください。  
4 ※印の欄は記入しないでください。

1 事業活動に伴う温室効果ガスの排出の量の削減等を図るための基本方針

(1) 温室効果ガス排出量の削減等に向けた方針

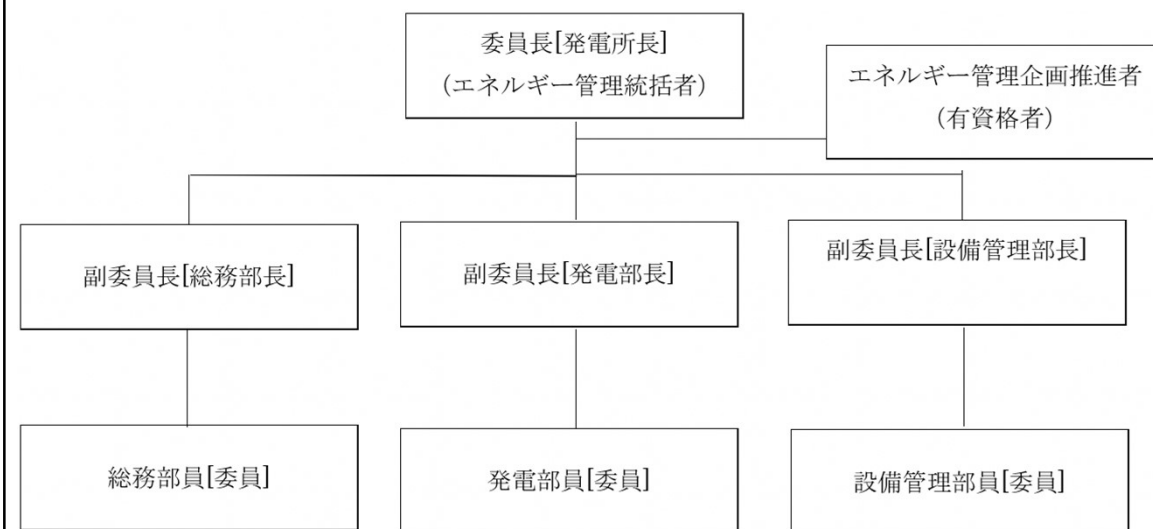
経営層をトップとして温室効果ガス排出量の削減に組織的に取り組み、継続的な温室効果ガス排出量削減活動を行う。

(2) 削減対策実施状況の適切な進行管理（PDC Aサイクル）を行うための方針

- ・温室効果ガス発生量の少ない液化天然ガスを燃料として使用し、また最高レベルの高効率発電を行う発電計画を定め、これを実行する。これにより単位電力使用量当たりの二酸化炭素排出量が少ない電力を供給し、電力使用段階での二酸化炭素排出量対策に寄与する。
- ・運転管理、設備維持管理の目標を明確に定めこれを達成することにより、安定的に高効率電力を共有する。

2 温室効果ガスの排出の量の削減等に向けた組織体制

エネルギー管理統括者を委員長とし、エネルギー管理企画推進者を含む体制を定め、各部から選任された委員による組織を構築している。



3 事業活動に伴う温室効果ガスの排出の量及び当該量の削減に係る事項

(1) 計画期間の温室効果ガスの排出の量の削減目標及び温室効果ガスの排出の量等

ア 基準排出量と目標排出量((基)は基礎排出量を、(調)は調整後排出量を示す。以下同じ。)

		1、2号該当者		3号該当者		4号該当者	
基準	年度	2024	年度	2024	年度	2024	年度
目標	年度	2027	年度	2027	年度	2027	年度
基準	排出量 (t-CO <sub>2</sub> )	(基) 24,778 (調) 24,778		(基) (調)		(基) (調)	
目標	排出量 (t-CO <sub>2</sub> )	(基) 24,763 (調) 24,763		(基) (調)		(基) (調)	
削減	量 (t-CO <sub>2</sub> )	(基) 15 (調) 15		(基) (調)		(基) (調)	
削減	率	(基) 0.1 % (調) 0.1 %		(基) % (調) %		(基) % (調) %	

イ 温室効果ガスの排出の量の実績

			1、2号該当者		3号該当者		4号該当者	
第1年度	2025年度	排出量 (t-CO <sub>2</sub> )	(基) (調)		(基) (調)		(基) (調)	
		削減量 (t-CO <sub>2</sub> )	(基) (調)		(基) (調)		(基) (調)	
		削減率	(基) % (調) %		(基) % (調) %		(基) % (調) %	
第2年度	2026年度	排出量 (t-CO <sub>2</sub> )	(基) (調)		(基) (調)		(基) (調)	
		削減量 (t-CO <sub>2</sub> )	(基) (調)		(基) (調)		(基) (調)	
		削減率	(基) % (調) %		(基) % (調) %		(基) % (調) %	
第3年度	2027年度	排出量 (t-CO <sub>2</sub> )	(基) (調)		(基) (調)		(基) (調)	
		削減量 (t-CO <sub>2</sub> )	(基) (調)		(基) (調)		(基) (調)	
		削減率	(基) % (調) %		(基) % (調) %		(基) % (調) %	

(2) これまでの取組における温室効果ガス排出の量の削減目標等

比較年度	1、2号該当者		3号該当者		4号該当者	
	2013	年度	2013	年度	2013	年度
比較年度排出量 (t-CO <sub>2</sub> )	(基) (調)	48,137 48,137	(基) (調)		(基) (調)	
目標排出量 (t-CO <sub>2</sub> )	(基) (調)	24,763 24,763	(基) (調)		(基) (調)	
削減率(目標)	(基) (調)	48.6 % 48.6 %	(基) (調)	% %	(基) (調)	% %
削減率(第1年度)	(基) (調)	% %	(基) (調)	% %	(基) (調)	% %
削減率(第2年度)	(基) (調)	% %	(基) (調)	% %	(基) (調)	% %
削減率(第3年度)	(基) (調)	% %	(基) (調)	% %	(基) (調)	% %

(3) 目標設定に関する説明

1. 2018年度から実施している照明設備LED化による温室効果ガス排出量削減効果分について、2025～2027年度も目標として設定した。

※基準年度(計画書を提出する年度の前年度)である2024年度は、定期点検や臨時点検が増えたため、発電ユニットの運転時間が減少(燃料使用量が減少)し、温室効果ガスの排出量が大きく減少した年であり、今後、運転時間増加に伴い、温室効果ガス排出量の増加が予想される。

(4) 計画期間の温室効果ガスの排出の量の状況及び措置の状況等

(計画には、計画期間内に実施する温室効果ガスの排出量の削減に向けた措置の内容を事業活動脱炭素化取組指針の別表第1から6等を参考に記載してください。)

計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>管理棟の照明設備不使用時の消灯徹底の継続</li> <li>管理棟の空気調和の管理(夏季:冷房28℃、冬季:暖房20℃)徹底の継続</li> <li>管理棟の空気調和設備の保全管理(フィルタ清掃、点検)徹底の継続</li> </ul>
第1年度	
第2年度	
第3年度	
計画期間における排出量の増減等についての評価 (第3年度の報告時に記載)	
上記評価を踏まえた改善対策など (第3年度の報告時に記載)	

4 エネルギーの使用量及び当該量の削減に係る事項

(1) エネルギーの使用量に係る原単位等の値 (1、2号該当者)

原単位等の活動量	発電電力量		原単位等の単位		kl/GWh
	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標年度
エネルギー消費等の原単位値	0.0001894				0.0001894
活動量の値	2573000000				2573324764
エネルギー消費等の削減率		%	%	%	0.0 %

(2) 温室効果ガスの排出の量に係る原単位等の値 (4号該当者)

原単位等の活動量			原単位等の単位		
	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標年度
排出量原単位等の値					
活動量の値					
排出量原単位等の削減率		%	%	%	%

(3) 目標設定に関する説明

川崎天然ガス発電は、ENEOSと東京ガスが出資する発電会社で、両出資会社からの供給指示に基づく「高効率な天然ガス火力による発電」に専念する位置づけとなっている。

(4) 基準年度からの原油換算エネルギー使用量等の推移 (1、2号該当者)

ア 事業者単位

	基準年度	第 1 年度	第 2 年度	第 3 年度
原油換算エネルギー使用量	487,557 kL	kL	kL	kL
エネルギー起源 CO <sub>2</sub> 排出量	24,778 t-CO <sub>2</sub>	t-CO <sub>2</sub>	t-CO <sub>2</sub>	t-CO <sub>2</sub>
事業所の数	1			

イ 事業所単位

基準年における年間の原油換算エネルギー使用量が 1,500kL 以上の事業所

事業所の名称	事業所の所在地	エネルギー起源CO <sub>2</sub> の排出量<<クレジット考慮>> (t-CO <sub>2</sub> )			
		基準年度	第 1 年度	第 2 年度	第 3 年度
川崎天然ガス発電株式会社	川崎市川崎区扇町12-1	24,778			

(5) 計画期間のエネルギー消費原単位等の状況及び措置の状況等

(計画には、計画期間内に実施するエネルギー消費原単位の改善、エネルギー使用量の削減等に向けた措置の内容を事業活動脱炭素化取組指針の別表第 1 から 6 等を参考に記載してください。)

計画	1. 生産設備の保全管理 (必要な保守・点検) の継続 2. 生産設備のエネルギー管理 (補助ボイラ停止時燃料レート変更による効率上昇) の継続 3. ガスタービンや補助ボイラの空気比管理の継続 4. 受変電設備の力率管理 (進相コンデンサー活用) の継続
第 1 年度	
第 2 年度	
第 3 年度	
計画期間におけるエネルギー消費原単位等についての評価 (第 3 年度の報告時に記載)	
上記評価を踏まえた改善対策など (第 3 年度の報告時に記載)	

5 再生可能エネルギー源の利用及び使用するエネルギーの電化に係る事項（1、2号該当者）

(1) 再生可能エネルギー源等の導入

ア 再生可能エネルギー源等を利用した設備の導入（基準年度）

種	類	設備規模 (kW)	発電量 (kWh/年)	余剰売電量 (kWh/年)	導入（保有）年度
太	陽	光			予定されていない
風		力			予定されていない
バ	イ	オ			予定されていない
		マ			予定されていない
		ス			予定されていない
		(燃料： — )			予定されていない
その他	( — )				予定されていない
その他	( — )				予定されていない
合	計		0	0	

イ 使用電力の再生可能エネルギー電源比率

	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標年度
電力エネルギー 消費量	1,291,470 kWh	kWh	kWh	kWh	1,291,470 kWh
再エネ電源等	85,237 kWh	kWh	kWh	kWh	85,237 kWh
再エネ電源比率	6.6 %	%	%	%	6.6 %

(2) 電気事業者等から調達する電力の排出係数

	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標年度
排出係数 ( kg-CO <sub>2</sub> /kWh )	0.506				0.506

(3) 使用エネルギーの電化の取組

	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標年度
電化の割合	0.1 %	%	%	%	0.1 %

(4) 目標設定に関する説明

川崎天然ガス発電は、ENEOS Powerと東京ガスが出資する発電会社で、「高効率な天然ガス火力による発電」に専念する位置づけとなっている。再生可能エネルギーについては、両出資会社が発電事業全体のポートフォリオの中で検討している。  
このことから、再生可能エネルギー源等の利用は両出資会社を中心となり検討を行い、川崎天然ガス発電は「高効率な天然ガス火力による発電」に専念する。

(5) 計画期間の再生可能エネルギー等の導入、電気事業者等から調達する電力の温室効果ガス排出係数等の状況

計画	なし	
第1年度		
第2年度		
第3年度		
計画期間における再生可能エネルギー等の導入等の評価 (第3年度の報告時に記載)		
上記評価を踏まえた改善対策など (第3年度の報告時に記載)		

7 温室効果ガスの排出の量の削減等に寄与する技術又は製品の開発等に係る事項

(1) 全社を含む取組

ア 脱炭素表明・中長期の温室効果ガス削減目標の設定

項目	計画	第1年度	第2年度	第3年度
(ア) 脱炭素に向けた表明の有無				
有無	上記目標等の設定なし			
内容				
(イ) 脱炭素に向けた表明の達成年度の目標				
年度	年度	年度	年度	年度
(ウ) 中間目標				
目標	年度	年度	年度	年度
	%削減 ( )年度比	%削減 ( )年度比	%削減 ( )年度比	%削減 ( )年度比

イ 脱炭素化に資するイノベーションの取組

項目	計画	第1年度	第2年度	第3年度
有無	取組実績なし			
内容				

ウ 中長期的な視点での温室効果ガスの排出量の削減目標

項目	計画	第1年度	第2年度	第3年度
有無	無			
内容				

エ 二酸化炭素を排出しない熱エネルギーの導入

項目	計画	第1年度	第2年度	第3年度
有無	導入なし			
内容				

オ SBT等イニシアチブへの加盟・賛同

項目	計画	第1年度	第2年度	第3年度
SBT	該当なし			
RE100	該当なし			
RE Action	該当なし			
TCFD	該当なし			

カ サプライチェーン全体での削減の取組

項目	計画	第1年度	第2年度	第3年度
有無	記載なし			
内容				

(2) 市内事業所の取組

ア 川崎CNブランドの認定の取得

項目	計画	第1年度	第2年度	第3年度
有無	製品・技術等の利用なし			
認証年度				

イ 川崎メカニズム認証制度の認証の取得

項目	計画	第1年度	第2年度	第3年度
有無	取得なし			
認証年度				

備考 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。

8 地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項（3から7までの事項を除く。）  
 （各年度において、計画に記載がない措置を実施した場合、実施した内容の最後に（追加実施）と記載してください。）

目標年度までの 計画	無し
第1年度	
第2年度	
第3年度	